

# 星花きらめく



令和2年8月21日(金)

長野市立裾花中学校

NO. 9

## ☆90日間の2学期、スタートしました☆

新型コロナウイルス感染症第2波の広がりが危惧される中ですが、今週18日(火)から登校日数にして90日間の2学期がスタートしました。4月・5月の臨時休業の影響もあって、18日間と短かった夏休みでしたが、生徒だけでなく保護者の皆様にとっても、日数だけでなく例年とは違った夏休みになったのではないのでしょうか。

休み明けの生徒の様子を見てみると、やはり連日の猛暑の影響や生活リズムのつかみ辛さなどから、疲労が抜け切れていないようにも見えます。保護者の皆様もお疲れのことと思いますが、どうかご自愛ください。

さて「新しい生活様式」という言葉が、日々、テレビや新聞等で取り上げられていますが、大都市部を中心とする新型コロナウイルスの全国的な広がりが再びみられる状況からも、改めて新型コロナウイルスに感染しないために、ご家庭においては引き続き「朝晩の検温」や「健康観察」のご協力をお願いしているところです。どうかよろしく願いいたします。

また、学校においては夏休み前から「3密の回避」「手洗いの徹底」「マスクの着用」、熱中症対策としての「ジャージ登校可」「水筒持参の水分補給」「エアコンの適正利用」等を進めてきました。こちらにもさらに警戒感を強めてそれぞれ対処していきたいと思いますが、文部科学省からは8月6日付で「学校の新しい生活様式 Ver.3」が示され、その中で特に強調されている点が「手洗いの徹底」と「マスクの取扱い」についてです。

今まで同様、学教環境・施設の清掃や消毒を行いつつも、とにかく感染予防に効果的なのが「手洗いの徹底」で、その手洗いの6つのタイミングとして「外から教室に入るとき」「咳やくしゃみ、鼻をかんだとき」「給食(昼食)の前後」「掃除の後」「トイレの後」「共有のものを触ったとき」として挙げられています。学校ではもちろん呼びかけ等、行っていますが、ご家庭でも一声添えていただければありがたいです。

一方「マスクの取扱い」についてですが、「身体的距離が十分取れない場合には着用すべき」となりました。熱中症の危険から、気温・湿度や暑さ指数が高い日、またその状況が考えられる登下校時などは、人と十分な距離を確保し、会話を控えるなど気を遣いながら、マスクを外すように変わってきています。新型コロナへの感染防止とともに、熱中症の回避をより進めていくようにします。

昨日も、関東甲信地方1都8県に「熱中症警戒アラート」が発表されました。今年度、熱中症の危険が極めて高くなることが予想される場合に、国民に「気づき」を与え、予防行動を促すことを目的として、環境省と気象庁が連携して発する熱中症対策に関する情報で、暑さ指数(WGBT)と併せて活用するものです。学校では、今後「熱中症警戒アラート」が発表された場合、即、体育や部活動を中止とするのではなく、暑さ指数(WGBT)と併せて、適切に対応していきたいと思えます。状況によって、体育の活動や部活動の内容を変更したり、部活動の終了を早めて十分配慮しながら帰宅させたりすることが出てくるかもしれません。ご理解とご協力をお願いいたします。

## 【校長講話（2学期始業式より）】

二学期にスタートに向けて、各学年より代表生徒に決意を發表してもらいました。

1年生の佐藤君は、自らの行動を見返す中で、テスト勉強と挨拶に取り組むこと、2年生の邑上さんは、行動の見返りで、テスト勉強の継続を、臨時休業を通して、当たり前ありがたいと家族を大切にすることを、3年生の垣崎君は、部活動と夏季交流大会をとおして、ありがたいと、行動の見返しから、志望校合格に向けて勉強を頑張ること、学校生活を楽しむことを、發表してくれました。それぞれ、学年に応じた、内容のある發表だったと思います。

さて、私からは、今發表してくれた友だちを含め、皆さんが目標を達成するためには安全で安心な学校生活を送ることが前提であるということをお話し、皆さんに協力してほしいことを話します。

6月の初め、一旦収束したかに見えた新型コロナウイルス感染症ですが、連日繰り返される報道より、感染が再び拡大傾向にあることがわかります。この状況を踏まえ、学校には国や県、そして、市から、学校の運営の仕方等々について、様々な通知が届いていますが、その中で大切にしたいと思ったフレーズがいくつかありました。一つ目は、

「学校においても、『3つの密』を避ける、『マスクの着用』及び『手洗いなどの手指衛生』など基本的な感染症対策を継続する『新しい生活様式』を導入するとともに、地域の感染状況に応じた感染症対策を講じながら、可能な限り、授業や部活動、各種行事等の教育活動を継続し、子供の健やかな学びを保障していくことが大切です。」

（学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル

～「学校の新しい生活様式」（2020.8.6 Ver.3）

です。もちろん、地域の感染状況によっては、臨時休校という措置をとらなければならないこともあるかと思いますが、「感染しない・させない」ということを基本とし、「with コロナ」という考え方により、休むことなく学校の運営を続けていく必要性を、今まで以上に強く感じています。

そして、その実現に向け、皆さんと確認したいこととして、二つ目の文章です。

「消毒は、感染源であるウイルスを死滅させ、減少させる効果はありますが、学校生活の中で消毒によりウイルスを全て死滅させることは困難です。このため、一時的な消毒の効果を期待するよりも、清掃により清潔な空間を保ち、健康的な生活により児童生徒等の免疫力を高め、手洗いを徹底することの方が重要です。」（同上）

本校でこれまで行ってきた、家庭用洗剤や消毒液による対応は今後も継続していきますが、その上で、今まで以上に清掃の徹底をお願いしたいのです。本校の良き伝統として伝えられてきている「無言清掃」「気づき清掃」により、新型コロナウイルス感染症を乗り越えていきたいと思えます。

そして、「手洗い」の徹底です。これまで「手洗いの6つのタイミング」として、

- ・外から教室に入るとき
- ・咳やくしゃみ、鼻をかんだとき
- ・給食（昼食）の前後
- ・掃除の後
- ・トイレの後
- ・共有のものを触ったとき



が示されていましたが、みなさんの取り組みはどうでしたか。今朝、登校して手洗いをしましたか？今回、授業場面における「器具や用具を共用で使用する場合は、使用前後の手洗いを行わせること」、部活動における「体育館など屋内で実施する必要がある場合は、こまめな換気や、手洗い、消毒液の使用を徹底すること」（同上）等、記述が加わっており、手洗いの重要性が強調されました。手洗いについては、一人ひとりに任されるところが大きくなります。そこで、皆さんが相互に声を掛け合うことにより、石けんによる手洗いが日常化することを期待したいと思います。感染症対策の大きな柱となるよう、取り組んでいきましょう。

学校の継続に向け、今後取り組むことについて話をしてきましたが、一学期の終業式に「学校は新型コロナウイルス感染症が拡大する前に戻ることはできない」とし、「この変化する大きな局面に立ち会うことができることに喜びを感じ、自分たちの力によって、新しい裾花中学校を作り上げていきましょう。」と話しました。更に、始業式でも、「自分たちの学校生活を、自らの中学校生活を、自らの夢を実現するため、自らの力によって作り上げていきましょう」「そのために、大切なことは、過去に縛られず、失敗を恐れずに、挑戦することだと思います」と話したのですが、覚えていますか。

学校の継続を考えると、「今まで通り」ではなく、「新たな手立て」を考えていかなければなりません。それを「ピンチ」として捉えるのか、大きく飛躍する「チャンス」と捉えるのかは、それぞれの考え方によります。

例えば、中学生の皆さんについて、「もう中学生」という言い方ができますが、一方で、「まだ中学生」という言い方もできます。ここに、ペットボトルがあり、中に飲み物が半分入っていますが、「半分もある」という言い方ができますが、「半分しかない」という言い方もできます。

この二つの例は、同じ事象であったとしても、それを判断する人の捉え方によって、考え方は異なるということを示しています。「ネガティブシンキング」「ポジティブシンキング」という言い方をすることがありますが、前向きに捉えるか、後ろ向きに捉えるかは、個人の思考によるのです。

「人生はどちらかです。勇気をもって挑むか、棒に振るか。」

これは「奇跡の人」と言われた、ヘレンケラーの言葉です。（ヘレンケラーは、熱病のために一歳で聴覚と視覚を失いますが、七歳からアン・M・サリバン先生の教育を受け、十九歳でハーバード大学ラドクリフ・カレッジに合格し、「三重の障害をもちながら大学教育を終了した世界最初の人」とも言われています。そしてその後、様々な国で講演を行い、福祉活動等に尽力しました。）その彼女が、どちらも選ぶことができると言っているのです。勇気をもって挑戦する方を選ぶのか。それとも、匙を投げ、諦める方を選ぶのか。

今年のこの状況について、「慣例にとらわれず、今年はいろいろとチャレンジができる。ラッキー！」と考えるのか、それとも、「今年はコロナのせいで、いつものようにできない。なんで！」と考えるのか。それは皆さん次第なのです。

どうせなら、「ポジティブシンキング」により、「今だからこそできること」、「経験できること」、「成長できること」をみんなで考え、見つけ、そして、取り組んでいきませんか。

新型コロナウイルス感染症への対応だけでなく、熱中症への対応も行いながら、新しい裾花中学を、653名の生徒と、55名の職員でデザインし、作り上げていきましょう。

## ◇学校からのお知らせ◇



### 【健康チェックについて】

夏休み明け、新たに「健康チェック表」(8月18日～9月30日版)を配布しています。

また Forms による健康チェックも、夏休み最終日から配信を再開しています。どちらかの方法による健康チェックに、引き続きご協力をお願いいたします。

なお、夏休み前に通知を出していますが、感染レベルがレベル2に引き上げられたことを受け、チェック項目の①～⑥(本人の健康状態)の場合だけでなく、⑦項目(同居する家族の健康状態)に該当する場合も、登校を控えていただくこととなりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

### 【交通事故防止徹底について (お願い)】

8月に入り、子どもが命を落とすという交通事故が2件発生しており、教育に携わる者として、大きな悲しみとやるせない思いでいっぱいです。生徒の命を守るため、学校としても、より一層子どもたちに登下校時の注意喚起や自転車の安全な利用に関する指導、危険箇所の確認等、徹底していきたいと思いますが、以下のような点に関わってご家庭での指導も併せてお願いします。

- 自転車を利用する前には、タイヤの空気、サドルの高さ、ブレーキの利き具合等の点検を行うこと。
  - 自転車に乗る際は、必ずヘルメットを着用すること。
  - 道路を横断する際は必ず一時停止をし、左右及び前後の安全を十分に確認して渡ること。
  - 下り坂ではスピードの出し過ぎに注意すること。  
※場合によっては、急な下り坂は自転車を降りて通行すること。
  - 交差点や曲がり角では一時停止や徐行をして、安全確認をしながら進むこと。
  - 夕暮れ時や夜間に利用する際はライトを点灯し、反射材を着用すること。
  - 時間にゆとりをもって行動するよう心がけること。
- ※ また、安全な歩行や自転車の乗り方、危険箇所の確認等、お子様と一緒に確認願います。

### 【第一学校給食センターからの給食提供開始】

夏休み前に通知させていただいているとおり、2学期より第一学校給食センターからの給食提供が開始されました。開始当初の1～2日間は、食器数やかごの違いから多少コンテナ室が混乱する場面もありましたが、今は落ち着いておいしく給食をいただいています。

### 【年間行事計画について】

夏休み前、年間行事計画の変更版をご家庭に配布いたしました。あくまでも現段階のものであり、今後の状況により変更になる可能性もあります。さらに変更が出た場合などは、通知やPTAメール、学校ホームページ等で改めてお知らせしていきます。よろしくお願いいたします。

セクハラや生徒に関わる相談窓口は、  
西澤 友子 (養護教諭)  
小伊藤裕子 (養護助教諭)  
廣田 和彦 (教務主任) です

長野市立裾花中学校 文責 市川 寿 (教頭)  
電話：026(226)1804  
FAX：026(226)1881  
電子メール susobanajh@nagano-ngn.ed.jp  
HP：http://www.nagano-ngn.ed.jp/susobana

